科目名		専門理論			方法	講義
担当教	<mark>員</mark>	小林仁・切久保美織、稲川光何	申・大友秀樹 実	務授業の有無		有
対象学	科	スポーツビジネス学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・	選択	必修	単位数	_	時間数	28時間
授業形	態		対面授業と	遠隔授業の併用	実施	
授業概	要、目的、 進め方	・各種目(スキー、スノーポー ・業界を支える発想力を身につ ・現在のウインタースポーツ産	ける。			で高める。
学習目:		・専門用語の習得 ・基本技術館・マテリアル理解 ・障害のメ		の理解		
		スキー:・日本スキー教程・SB スノーボード:スノーボード教				
回数		授業項目、内容		学習	[」] 方法・準備学習	g・備考
1	スキー・スノーボー	ードの歴史①				
2	スキー・スノーボードの歴史②					
3	3 マテリアル基礎構造①					
4	マテリアル基礎構造②					
5	5 マテリアル基礎構造③					
6	6 マテリアル基礎構造④					
7	マテリアル基礎構	堵造 ⑤				
8	スキー・スノーボー	ード基礎用語				
9	スキー・スノーボー	ード専門知識・技術理論①				
10	スキー・スノーボー	一ド専門知識・技術理論②				
11	スキー・スノーボー	一ド専門知識・技術理論③				
12	スキー・スノーボー	ード専門知識・技術理論④				
13	スキー・スノーボ・	一ド専門知識・技術理論⑤				
14	冬の気象					
	評化	価方法・成績評価基準			履修上の注意	
平常点40 ■成績評 A(秀 8	。(試験60点以下の 0% (学習意欲、取 価4段階評価 10 30点以上) B(優 50点以上) D(不可	り組み、理解度、出席率) 00点満点で評価 70点以上)				
宝े経	経験対員の経歴	カナダスキーアルペンアシスタントコーチ、	、県スキー連盟、地域協議	会コーチ指導/妙高山スノ-	-ボードスクール経営、オ-	-ルアルビレックスコーチ1年

<mark>科目名</mark>		専門理論Ⅱ			方法	講義	
担当教	·員	小林仁・切久保美織・	滝沢光 :	実務授業の有無		有	
対象学	<u></u> 科	スポーツビジネス学科	対象学年	2年	開講時期	通年	
必修・	選択	必修	単位数	_	時間数	28時間	
授業形	態		対面授業	と遠隔授業の併用	実施		
	要、目的、 進め方	スキー:指導者としての人格形 社会的コミュニケーション能力 スノーボード:スノーボードが	の向上				
学習目 (到達		スキー・スノーボード指導の基	本を身につけ、	安全かつ正確な技能習	 引熟メソッドの習得	<u>}</u>	
		・スキー指導と検定(最新版) ・日本スキー教程 ・SIA指導教		要と思われる資料を配	布		
回数		授業項目、内容		学習	プ方法・準備学習	習・備考	
1	スキー:指導者の スノーボード:目标)役割 票チェックシート確認		・指導者の社会的 ・目標の確認	意義		
2	スキー指導者の行スノーボード:マラ			・指導者に必要な資	資		
3	スキー指導者の行スノーボード:マラ			・スキー・スノーボー	-ドの運動の力学的	知識	
4	スキー指導者の行スノーボード:マラ	_		・ターン技術の組立	:		
5	スキー指導者の役割 スノーボード:マテリアルの構造④			・種目特性から見た	・種目特性から見た指導		
6	スキー・スノーボードの運動特性と技術の構造①			・指導の基礎と原則	J		
7	スキー・スノーボー	ード運動の特性と技術の構造②	2)				
8	スキー・スノーボー	ード運動の特性と技術の構造の	3)				
9	スキー・スノーボー	ード運動の特性と技術の構造の	D				
10		ースタイル技術講習①		・種目特性から見た	・種目特性から見た指導		
11		ースタイル技術講習②		・種目特性から見た	・種目特性から見た指導		
12		ースタイル技術講習③		・指導の基礎と原則]		
13	スキー:指導方法 スノーボード:フリ	(論④) 一スタイル技術講習④		・指導の基礎と原則]		
14	テスト			口頭によるインタビ	ューテスト		
						_	
	===	五十.计 。			アタレッシ	<u> </u>	
	高 半 1	西方法・成績評価基準			履修上の注意	쿲	
授業中の 価する。	関心・意欲・態度	、実技技能、レポートなど思考制	判断を総合的に	評			
A(秀80	点以上)B(優70点	点以上)C(良60点以上)D(不可	可60点未満)				
実務紹	経験教員の経歴	元SAJナショナルデモンストレーターとして指導経験、カナダスキー	ーアルベンアシスタントコーチ、明	スキー連盟、地域協議会コーチ指導/新潟県ス	キー連盟スノーボード競技強化部長4年、	SSコーチ8年、オールアルビレックスコーチ5年	

科目名					<u> </u>	方法	講義
担当教	L 負	小林仁・切久保美織、	稲川光伸	実務搭	受業の有無		 有
対象学	<u></u> 科	スポーツビジネス学科	対象学年		1	開講時期	前期/後期
	選択	必修	単位数		_	時間数	14時間
授業形	.態		対面授業	を遠]実施	
	要、目的、 進め方	スキー:映像分析や、技術解説 つける。選手として求められる スノーボード:スノーボードに の基本など、スノーボードビジ	、技術の展開を 関する様々など	を理解す	-る。 -ションワークで	を模擬制作し、SNS	
-	標 目標) 、 、 、 、 、 、 、 、 、 数材・参	スキー:的確な技術解説の習得 スノーボード:様々なクリエー				スや業界への関心を	と高める
	・その他資料	・日本スキー教程 ・動画					
回数		授業項目、内容			学習		習・備考
1	ねらいと導入の研	在認					
2	映像分析•映像網	幕集			『上でのトレーニ 快像編集・分析	ングビデオの検証	
3	映像分析·映像網	幕集		• 時	像編集•分析	ングビデオの検証	
4	映像分析•映像網	編集			記上でのトレーニ ・快編集・分析	ングビデオの検証	
5	映像分析・映像編集			記上でのトレーニ ・快傷編集・分析	ングビデオの検証		
6	映像分析・映像編集		- 時	·像編集·分析	ングビデオの検証		
7	映像分析•映像網	編集			『上でのトレーニ 快像編集・分析	ングビデオの検証	
	評化	価方法・成績評価基準				履修上の注意	意
平常点40 ■成績訊 A(秀 C(良	6 (試験60点以下の 0% (学習意欲、取 呼価4段階評価 10 80点以上) B (優 60点以上) D (不可 経験教員の経歴	り組み、理解度、出席率) 00点満点で評価 70点以上)	ントコーチ、元SAIナ	ショナルデ	モンストレーターとし	で指導経験/妙高山スノー	ボードスクール経営

科目名					方法	講義
担当教	<mark>員</mark>	小林仁・切久保美織、	滝沢光	実務授業の有無		<mark>l</mark> 有
対象学		スポーツビジネス学科	対象学年		開講時期	前期/後期
必修・		必修	単位数		時間数	14時間
授業形		-5.72		<mark>──</mark> 美と遠隔授業の併用		- 11 3 110
授業概授業の	要、目的、 進め方	スキー:映像分析や、技術解説 つける。選手として求められる スノーボード:スノーボードに	、技術の展開を	を理解する。		
学習目		スキー:的確な技術解説の習得 スノーボード:知識の活用と技			星を知る。	
		・日本スキー教程				
考図書	・その他資料	・オリジナルプリント				
回数		授業項目、内容		学習	習方法・準備学 ³	習・備考
1	スキー:ねらいと スノーボード:内	容の構想		・雪上でのトレーニ・技術についての	ングビデオの検証 対論と解説演習	
2	スキー:映像分析 スノーボード:内容			・雪上でのトレーニ・技術についての記	ングビデオの検証 対論と解説演習	
3	スキー:映像分析 スノーボード:内容			・雪上でのトレーニ・技術についての	ングビデオの検証 対論と解説演習	
4	スキー:映像分析 スノーボード:内容			・雪上でのトレーニ・技術についての	ングビデオの検証 対論と解説演習	
5	スキー:映像分析 スノーボード:内容	容の解説 ニューニー		・雪上でのトレーニ・相互アドバイス及	ングビデオの検証 び技術討論	
6	スキー:技術討論 スノーボード:レィ	イアウト作成		・雪上でのトレーニ・相互アドバイス及	ングビデオの検証 び技術討論	
7	スキー:技術討論 スノーボード:レィ			・雪上でのトレーニ・相互アドバイス及	ングビデオの検証 び技術討論	
	評化	価方法・成績評価基準			履修上の注意	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
平常点40 ■成績評 A(秀 8	。(試験60点以下の 0%(学習意欲、取 60点以上)B(優 60点以上)D(不可	り組み、理解度、出席率) 00点満点で評価 70点以上)				
実務経	経験教員の経歴	カナダスキーアルベンアシスタントコーチ、元SAJナシ	ョナルデモンストレーター	として指導経験/新潟県スキー連盟スノー	-ボード競技強化部長4年、SSコー	チ8年、オールアルビレックスコーチ 5年

科目名		指導・検定対	指導・検定対策			方法	講義
担当教		小林仁・稲川光伯	伸	実	<mark>条授業の有無</mark>		有
対象学	科	スポーツビジネス学科	対象学年	E	2	開講時期	後期
必修・	選択	必修	単位数		_	時間数	14時間
授業形	態		対面授	受業 (と遠隔授業の実	施	
授業概授業の	要、目的、 進め方	・インストラクター資格の必要・実技検定種目の理解 ・学科			3		
	<u>幸目標)</u> インストラクター資格の取得						
	・スキー指導と検定 その都度、必要と思われる資料を配布 ・ ・図書・その他資料 ・SAJ教育本部オフィシャルブック ・全日本スノーボード教程						
回数		授業項目、内容			学習	方法・準備学習	習・備考
1	指導者理論①				・スキー・スノーボー ・スキー・スノーボー		
2	指導者理論②				・求められる指導者 ・望ましい指導者の		
3	指導方法論			・指導の基礎と原則 ・指導における評価			
4	技術の指導①			・実地指導の内容	・検定種目の習得と	理解	
5	技術の指導②			・指導の展開及び技	技術系統の確認		
6	指導者に必要な競技知識			・競技規則の概要 ・競技全種目につい			
7	専門用語の理解	規約、規定の理解			・会員登録規定・教育本部規定・内規及び関連諸規定・検定制度に関する規定		
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
	評化	価方法・成績評価基準				履修上の注意	
■成績評 A(秀 & C(良 (□ 1 (山) 7 (人) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本				なし	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	15 - 4 - 11 07 34

科目名		トレーニングI	トレーニングI・Ⅱ			実技
担当教	員	小野沢一麻、滝沢光、大友秀樹、小林	仁、切久保美織 実	務授業の有無		有
対象学	科	スポーツビジネス学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・		必修	単位数	_	時間数	84時間
授業形	態		対応	面授業の実施		
授業概授業の	要、目的、 進め方	基礎体力・持久力の向上。				
学習目:	習目標 到達目標) トレーニングを通じて、身体への知識を増やし競技力の向上。					
	ト・教材・参・その他資料	なし				
回数		授業項目、内容		学習	プ方法・準備学習	習・備考
1	基礎体力向上・フ	ィジカル強化①				
2	基礎体力向上・フ	ィジカル強化②				
3	基礎体力向上・フィジカル強化③					
4	基礎体力向上・フィジカル強化④					
5	基礎体力向上・フィジカル強化⑤					
6	基礎体力向上・フィジカル強化⑥					
7	基礎体力向上・フ	ィジカル強化⑦				
8	フィジカル強化・	特異性トレーニングの実施⑧				
9	フィジカル強化・	特異性トレーニングの実施⑨				
10	フィジカル強化・	特異性トレーニングの実施⑩				
11	フィジカル強化・	特異性トレーニングの実施⑪				
12	フィジカル強化・	特異性トレーニングの実施⑫				
13	フィジカル強化・	特異性トレーニングの実施⑬				
14	フィジカル強化・	特異性トレーニングの実施⑭				
15						
16						
	評化	西方法・成績評価基準			履修上の注意	Ĭ.
	授業態度			怪我の防止・熱中症		

科目名		コンディショニン	/グ丨	<u> </u>	方法	スポーツ専門学校 講義	
担当教		小野沢一麻		実務授業の有無		 有	
対象学		スポーツビジネス学科	対象学年		開講時期	通年	
必修・	選択	必修	単位数	_	時間数	28時間	
授業形	態		対面授業	と遠隔授業の併用	実施		
授業概 授業の	要、目的、 進め方	ポーツのケガを減らし、安全なご 得し①ケガの予防、②ケガからの	人体の特徴、基礎栄養、障害予防方法、応急処置を学び、身体の状態を維持、向上する方法を理解する。だ ポーツのケガを減らし、安全なスポーツ環境を作るために、スポーツ医学の知識(身体やケガの知識)を 得し①ケガの予防、②ケガからの競技復帰、③競技力の向上、に活かす。 パフォーマンスアップに必要な身体の特徴理解を深める。				
学習目(到達		スポーツ医学検定資格取得	スポーツ医学検定資格取得				
	(ト・教材・参 書・その他資料	スポーツ医学検定公式テキスト	2・3級、基礎	性から学ぶスポーツトレ	ィーニング理論		
回数		授業項目、内容		学習	方法・準備学習	習・備考	
1	解剖学・バイオメ	カニクス(人体の特徴と名称)①	D	実技あり、教科書、	映像を用いた動作チ	ェック	
2	解剖学・バイオメカニクス (人体の特徴と名称) ②		実技あり、教科書、	映像を用いた動作チ	ェック		
3	基礎栄養①		5 大栄養素、吸収、	分解の仕組み、水分	補給、エネルギー		
4	基礎栄養②		5 大栄養素、吸収、	5 大栄養素、吸収、分解の仕組み、水分補給、エネルギー			
5	怪我の予防		怪我を防ぐために				
6	怪我からの競技復			復帰を早める為に必	要な事(栄養、処置		
7	怪我からの競技復	'帰		復帰を早める為に必	要な事(栄養、処置	. リハビリ)	
8	トレーニング種類	と組み合わせ		各部位のトレーニン	各部位のトレーニング方法、セット法		
9	トレーニング種類	にと組み合わせ方/ピリオダイゼー	ション		各部位のトレーニング方法、セット法、スケジュールの組み方と ピークパフォーマンスの作り方		
10	頭位を位置する胸	郭のスポーツにおける重要性につ	ついて	実技あり、自身の滑	走動画比較		
11	頸椎と呼吸法の関	係性による柔構造と剛構造の違い	`	実技あり、チェック	方法、トレーニング	方法の習得	
12	パフォーマンスを	決める手と体幹の位置関係と発揮	軍方法	実技あり、チェック	方法、トレーニング	方法の習得	
13	骨盤のパフォーマ	ンス向上におけるメカニズム①		実技あり、チェック	方法、トレーニング	方法の習得	
14	骨盤のパフォーマ	ンス向上におけるメカニズム②		実技あり、チェック	方法、トレーニング	方法の習得	
	<u> </u>	価方法・成績評価基準			履修上の注意	<u> </u>	
平常点40 ■成績評	6 (試験60点以下の 0% (学習意欲、取 ² 価4段階評価 10 80点以上)B(優	り組み、理解度、出席率) 00点満点で評価					
	60点以上)D(不同	可 60点未満)					
実務経	経験教員の経歴	スノーボード日本代表選手専	属トレーナー4年、	デフリンピックスノーボードフリ-	-スタイル日本代表トレーナ	2013~現在	

科目名		 コンディショニン	ノグ II		方法	講義	
担当教		小野沢一麻		実務授業の有無	7314	有	
担 封 象学		スポーツビジネス学科			開講時期	通年	
必修・		メホーノビジネス子科 必修	単位数		時間数	28時間	
光彩· 授業形		火門		 業と遠隔授業の実		乙〇叶门	
スキー、スノーボードにおける外傷・障害について法を身近な道具を使用し、身体の状態を維持、向」い、自身に必要なケア、トレーニング、傾向を理解 識理解を目的とし、後期は障害に対してのセルフク			いて理解し、障害予防 向上する方法を理解す 理解し、各関節におい	ちとしてケア、コン rる。前期はアライ tるパフォーマンス	メントチェックを行		
学習目標 自分の体を知り、コンディショニング方法として、 (到達目標) セルフケアの方法と、体に対しての基礎知識の習得							
テキスト・教材・参 考図書・その他資料 ・入門運動生理学(第3版)・トレーニング指導者テキスト(理論編)・パーソナルフィットネストレーナーマニュアルV				ナーマニュアルV3			
回数		授業項目、内容			<mark>'方法・準備学</mark> 習		
1	アライメントチェ	ック(静的、動的アライメント、	柔軟性)	姿勢評価を行う(半 キッド ※フィット		ラ、メジャー、FMS	
2	アライメント分析	、評価、メニューの作成		姿勢評価、説明終了			
3	アライメント分析	、評価、メニューの作成		メニュー作成			
4	股関節の重要性について(実技)		動への影響を実技の	股関節の基礎動作・知識を理解したのち、股関節の動作による運動への影響を実技の中で体験する			
5	胸郭の重要性について(実技)		動への影響を実技の	股関節の基礎動作・知識を理解したのち、股関節の動作による運動への影響を実技の中で体験する 膝、足関節の基礎動作・知識を理解したのち、関節動作による運			
6	膝関節の動作と足首の関係性		動への影響を実技の	中で体験する			
7	脊柱動作が運動に	及ぼす影響について			育柱の基礎動作・知識を理解したのち、関節動作による運動への 影響を実技の中で体験する		
8	前期テスト			前期評価テスト			
9	背部痛に対しての	知識とケアの方法		解する	111111111111111111111111111111111111111		
10	背部痛に対しての	知識とケアの方法		解する	筋筋膜性背部痛理解とケアについて学び、セルフケアの方法を理 解する		
11	腰痛に対しての知	識とケアの方法		セルフケアの方法を	理解する	解とケアについて学び、	
12	腰痛に対しての知	識とケアの方法		セルフケアの方法を	理解する	解とケアについて学び、	
13	膝痛に対しての知	識とケアの方法		膝蓋周囲炎、鵞足炎 解と対処法、ケアの		月板損傷など膝の障害理	
14	後期テスト			後期テスト			
	評化	価方法・成績評価基準			履修上の注意	<u> </u>	
平常点4(■成績評 A(秀 : C(良	価4段階評価 10 80点以上)B(優 60点以上)D(不高	り組み、理解度、出席率) 00点満点で評価 70点以上) 可 60点未満)					
美務裕	経験教員の経歴	スノーボード日本代表選手専	4属トレーナー4年、デ	フリンピックスノーボードフリ-	-スタイル日本代表トレーカ	←2013~現在	

担当教員	小野沢一麻	スポーツケア			<mark>1</mark>
	7*±*/\ \\/\\	実	務授業の有無		有
対象学科	スポーツビジネス学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修/選択	単位数	-	時間数	14時間
授業形態		対面授業	と遠隔授業の実	.施	
授業概要、目的、授業の進め方	パートナーケア、セルフケアの: アスリート、コーチ、インスト 識習得。スポーツマッサージや 心に展開。	ラクターなど自身			
学習目標 (到達目標)	ストレッチ、スポーツマッサー	ジにおける知識・	技術の習得		
テキスト・教材・参考図書・その他資料	・入門運動生理学(第3版)・ト	レーニング指導者	テキスト(理論編)	・ パ ーソナルフィットネストレー	-ナ-マニュアルV3
回数	授業項目、内容		学習	方法・準備学	習・備考
1 セルフストレッキ	F				
2 セルフストレッ・	F				
3 ストレッチポール	ストレッチポールを用いたケア				
4 スポーツマッサ・	スポーツマッサージ (手技基礎、効果性の理解)				
5 スポーツマッサ・	スポーツマッサージ(下半身)				
6 スポーツマッサ・	る スポーツマッサージ (上半身)				
7 スポーツマッサ・	- ジ(全身ケア・応用)				
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
	Treal No. 12 Note the Late No.				
	である。 「これでは、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点では、一点			履修上の注意	₹
考査60%(試験60点以下 平常点40%(学習意欲、」 ■成績評価4段階評価 A(秀 80点以上)B(優 C(良 60点以上)D(不 実務経験教員の経歴	取り組み、理解度、出席率) 100点満点で評価 70点以上) 可 60点未満)			76 (4) P±"++	→ 2012 (Bdr

科目名			<u> </u>	£	方法	スポーツ専門学校 	
担当教		福山泰子		と 務授業の有無	12,121	有	
対象学		スポーツビジネス学科		1学年	開講時期	<u></u> 通年	
必修・		必修	単位数	_	時間数	28時間	
2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 		20 19		<mark> </mark> と遠隔授業の併用		2011, [4]	
	要、目的、 進め方	概 要 流通の基礎理論、商品化目 的 流通業界の知識取得とれ 進め方 リテールマーケティン:	社会で幅広く活	ヱマきる人材の育成。 躍できる人材の育成。			
学習目 (到達		1.流通の基礎知識が理解できる。	2.各流通段階(こおける商品化計画、	店舗運営が理解で	きる。	
	スト・教材・参 ・その他資料	株式会社カリアック 販売士ハン	ンドブック(基礎	幸編)、その他配布資	料		
回数		授業項目、内容		学習	方法・準備学習	・備考	
1	流通における小売業の基本、組織形態別小売業の基本		テキスト1に沿って	て知識を修得P7〜P	58		
2	店舗形態別小売業の基本的役割			テキスト1に沿って	て知識を修得P59~	P100	
3	商業集積の基本、商品の基本、マーチャンダイジングの基本				テキスト1に沿って知識を修得P101~P113、テキスト2に 沿って知識を修得P7~P38		
4	商品計画の基本、販売計画および仕入計画などの基本			テキスト2に沿って	て知識を修得P39~	P70	
5	価格設定の基本、在庫管理の基本、計算			計算		P98、電卓を使っての	
6	販売管理の基本、ストアオペレーションの基本			テキスト2に沿って 沿って知識を修得		P113、テキスト3に	
7		ディスプレイの基本、作業割当の			て知識を修得P49~	P124、包装実習	
8	前期の振り返り ペレーション	小売業の類型、マーチャンダイシ	ジング、ストア	ナテキスト1~3の概	既要の振り返り		
9	小売業のマーケテ	イングの基本、顧客満足経営の基	基本	テキスト4に沿って	テキスト4に沿って知識を修得P8~P29		
10	商圏の設定と出店	の基本、リージョナルプロモーシ	/ョンの基本	テキスト4に沿って知識を修得P31~P66			
11	顧客志向型売場づ	iくりの基本、販売員の役割の基z	k	テキスト4に沿って知識を修得P67~P96、テキスト5に 沿って知識を修得P7~P26			
12	法令知識			テキスト5に沿って	て知識を修得P27~	P66	
13	計数管理、計算			テキスト5に沿って 計算	テキスト5に沿って知識を修得P67~P76、電卓を使用して計算		
14	店舗管理の基本			テキスト5に沿っ	て知識を修得P81〜	P107	
	評	価方法・成績評価基準			履修上の注意		
平常点4 ■成績語 A (秀	6 (試験60点以下の 0% (学習意欲、取 F価4段階評価 1 80点以上) B (優 60点以上) D (不可 60点以上) D (不可	7り組み、理解度、出席率) 00点満点で評価 70点以上)				来る小売業について観 容の肉付けとして活用	
実務紹	経験教員の経歴	18年販売促進コーディネータ ての実績あり。	-の実績、10)年リテールマーケ:	ティング検定対策	(3級2級) 講師とし	

科目名			5 11	至	方法	- スポーツ専門学校 	
			<u> </u>	中教授类の大便	万法		
担当教		福山泰子		実務授業の有無	88 =# n+ Ha	有	
対象学		スポーツビジネス学科 必修	対象学年単位数	2学年	開講時期 時間数	通年 28時間	
授業形		火帽		 と遠隔授業の併用	******	20时间	
授業の		概 要 スポーツ経営学基礎で習 目 的 リテールマーケティング 進め方 リテールマーケティング	ブ3級合格。				
学習目 (到達 テキス		リテールマーティング検定3級取	得				
	・その他資料	株式会社カリアック 販売士ハン	ンドブック(基	礎編)、販売士ハンド	ブック(応用編)、	その他配布資料	
回数		授業項目、内容			習方法・準備学習		
1	小売業の類型、マーチャンダイジング対策			テキスト1、2を1 (解答も)配布。	使用して出題傾向と	と对策。模擬問題1	
2	ストアオペレーション、マーケティング対策			テキスト3、4を使答も)配布。		対策。模擬問題2(解	
3	販売経営管理対策			も)配布。	テキスト5を使用して出題傾向と対策。模擬問題3(解答 も)配布。		
4	検定対策1			明。模擬問題4を	配布。	箇所のポイント説	
5	検定対策2			題5を配布。		ポイント説明。模擬問	
6	検定対策3			題6を配布。		ポイント説明。模擬問	
7	検定対策4			点確認。		ポイント説明。最終要	
8	小売業の形態の知	識を深める		る。	テキスト1の復習によって知識を確実にし、内容を深める。		
9	店舗運営において	の実践的なマーチャンダイジンク	ブの構想と構築	テキスト2の復習によって知識を確実にする。一つの小売 業態を選択し、マーチャンダイジングを構築 テキスト3の復習によって知識を確実にする。選択した小			
10	店舗運営において	の実践的なストアオペレーション	/の構想と構築	売業態についてス	トアオペレーショ	ンを構築	
11	店舗運営において	の実践的なマーケティングの構想		売業態についてマ	ーケティングの構		
12	店舗運営において	の実践的なマーケティングの構築	Feb.	正、構築する		ティングの構想の修	
13	店舗運営において	の実践的な販売経営管理の再確認	77 C	売業態についての)販売経営の再確認		
14	店舗運営において	の実践的な販売経営管理の構築と	∠全体像の完成	t.	の修正と完成を目	ティングとストアオペ 指す。	
		価方法・成績評価基準			履修上の注意		
平常点40 ■成績評 A(秀	6 (試験60点以下の 0% (学習意欲、取 26 4 段階評価 1 80点以上) B (優 60点以上) D (不可	り組み、理解度、出席率) 00点満点で評価 70点以上)	の宝績 1	テキストの内容を把		毎(3級2級) 議師とし	
実務経	経験教員の経歴	10年級元促進コーティネータ ての実績あり。	ッ大順、I	0-F)	, 1 / / 1K 凡 以	R (J/I)X Z /I)X/ p 中PP C し	

科目名		イベント理論	イベント理論		方法	講義
担当教	員	稲川 光伸	実	努授業の有無		有
対象学	科	スポーツビジネス学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・	選択	必修	単位数	_	時間数	14時間
授業形	態		対面授業	と遠隔授業の実	施	
授業概: 授業の:	要、目的、 進め方	社会活動においても不可欠な経 ミレーション、MCなどイベント		=	重要性を考え、企画	書の作成、運営シュ
学習目		イベント企画力、運営能力を養	う。			
	ト・教材・参・その他資料	オリジナルプリント				
回数		授業項目、内容		学習	方法・準備学習	望・備考
1	スポーツイベント イベント活動、企画力の重要性、収益性					
2	イベント理論 1 (概要作成、協賛、協力、イベント内容、参加費、参加資格、運営役員等)					
3	イベント理論2 スケジュール(スタッフ用、選手用)、備品リストの作成)					
4	イベント理論3 (会場レイアウトの作り	或、予算書の作り方、決算書の作り方)				
5	5 イベント理論4 (後援申請の方法、報告書の作り方)					
6	イベント理論5 (開催要項作成、申し込み方法、申込書、免責同意書・権利放棄書作成)					
7	前期テスト					
	評化	西方法・成績評価基準			履修上の注意	
■成績評 A(秀 & C(良 (欲・態度・技能に 価4段階評価 10 30点以上)B(優 50点以上)D(不可 験教員の経歴	70点以上)		ボードスクール	経営	

科目名		チューンナップ	プ		方法	実技	
担当教	員	滝沢光・切久保美織 <mark>実務</mark>		務授業の有無	8授業の有無 有		
対象学	科	スポーツビジネス学科	対象学年	1年	開講時期	後期	
必修・	選択	必修	単位数	_	時間数	14時間	
授業形	態		対面	授業のみ実施			
授業概要、目的、 授業の進め方		・板の構造やワックスの特性を理解し、適切なチューンナップ技術を習得する。 ・自身のマテリアルを調整する能力を身につけ、競技力向上と専門知識の向上を目指す。					
学習目(到達		・天候や雪質に合わせて、滑走面とエッジの適切な調整ができる ・常に、マテリアルの状態を整え技術練習の向上を目指す。					
	ト・教材・参・その他資料	オリジナルプリント					
回数		授業項目、内容		学習	習方法・準備学習	留・備考	
1	用具に関する基础	楚理解		・板の基本構造と素材 ・チューンナップの必	材 ・滑走面に要求され 要性	るポイント	
2	チューンナップに	関する基礎理解		・サンディングとストラ ・ワックスの特徴と適	ラクチャー ・エッジの調切な選択方法	整と解説	
3	チューンナップ実	技		・エッジ研磨実技(サ	・エッジ研磨実技(サイドエッジ、ベースビベリング)		
4	チューンナップ実	技		・スクラッピングとブラ	ラッシング		
5	チューンナップ実	技		・ワックシング(ベースワックスの塗布)			
6	チューンナップ実	技		・ワックシング(トップワックスの塗布)			
7	チューンナップ実	技		・ワックシング(スター	-トワックスの塗布)		
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
	評化	西方法・成績評価基準			履修上の注意	意	
ど思考半 学科試験 A(秀80	断を総合的に評価 の合格は、60点以	京以上)C(良60点以上)D(不可	0%) 可60点未満)	ューンナップ作	業に従事		

科目名		チューンナップⅡ			方法	実技
担当教	員	棟田 達典	8授業の有無		有	
対象学		ウィンタースポーツ学科スキーコース	対象学年	2年	開講時期	後期
必修・		必修	単位数		時間数	4時間
授業形	態 ——————		対面:	授業のみ実施		
授業概	要、目的、 進め方	自身のマテリアルを調整する能力	力を身につけ、競	技力向上と専門知譜	俄の向上を目指す。	
学習目		高度なチューンナップ技術を身(につけ、滑走技術	—— に合わせたマテリフ	 アルの調整ができる	0
考図書	ト・教材・参・その他資料	オリジナルプリント				
回数		授業項目、内容		学習	['] 方法・準備学習	習・備考
1	スキー・スノーボ-	ードのチューンナップ実技		・サンディングマシン実技		
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
	 	価方法・成績評価基準			履修上の注意	<u> </u>
価する。		、実技技能、レポートなど思考半				
		点以上)C(良60点以上)D(不可	J60点未満) 			
実務経	験教員の経歴		チュー	ンナップ店経営		

科目名					方法	実技	
	コニヘロ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			実務授業の有無	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	有	
対象学		ウィンタースポーツ学科	対象学年		開講時期	通年	
が 必修・		必修	単位数	_	時間数	456時間	
授業形態			ー 対面授業で実施				
授業概要、目的、 授業の進め方		スキー・スノーボードを通じ人間力・技術基礎を学び、大会、資格取得、技術向上を目指し練習を行う。					
学習目 (到達		大会入賞、インストラクター資格の取得					
	スト・教材・参 ・その他資料	なし					
回数		授業項目、内容		学習	方法・準備学習	習・備考	
1	春の雪上トレーニ	ング①		妙高エリアにて基礎	技術練習		
2	春の雪上トレーニ	ング②		妙高エリアにて基礎 テレマーク、板試乗	妙高エリアにて基礎技術練習 テレマーク、 板試乗		
3	春の雪上トレーニ	ング③		妙高エリアにて基礎	技術練習		
4	春の雪上トレーニ	ング④		妙高エリアにて基礎	妙高エリアにて基礎技術練習		
5	雪上トレーニング	6		基礎基本技術の構築	基礎基本技術の構築、マテリアル調整とチェック		
6	雪上トレーニング	6			基礎滑走技術の向上		
7	7 雪上トレーニング①		基礎ゲートトレーニ	実践的な応用技術の習得 基礎ゲートトレーニング			
8	雪上トレーニング⑧			実践的な応用技術の習得 実戦的なゲートトレーニング、パーク練習			
9	雪上トレーニング	9		実践的な応用技術の習得 実戦的なゲートトレーニング、パーク練習			
10	雪上トレーニング⑩			実践的な応用技術の習得 実戦的なゲートトレーニング、パーク練習			
11	雪上トレーニング	<u> </u>			各種予選参戦及び調整		
12	雪上トレーニング	[*] @		パーク練習、大会に	各種ポイントレース参戦、応用技術トレーニングの実施 パーク練習、大会に向けた調整		
13	雪上トレーニング	(B)		パーク練習、大会に	各種ポイントレース、大会参戦、応用技術トレーニングの実施 パーク練習、大会に向けた調整		
14	雪上トレーニング	14		パーク練習、大会に	各種ポイントレース、大会参戦、応用技術トレーニングの実施 パーク練習、大会に向けた調整		
15	雪上トレーニング	16		各種ポイントレース パーク練習、大会に		術トレーニングの実施	
16	雪上トレーニング	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		全日本選手権への調	1整、資格・検定		
	評価方法・成績評価基準				履修上の注意	意	
■成績訊 A(秀 C(良	関心・意欲・態度・技能において評価を行う。 (出席率80%以上) ■成績評価 4 段階評価 100点満点で評価 A (秀 80点以上) B (優 70点以上) C (良 60点以上) D (不可 60点未満) 実務経験教員の経歴 カナダスキーアルベンアンスタントコーチ、黒スキー連盟、地域協議会コーチ指導/分商山スノーボードスクール経営、新潟県スキー連盟スノーボード競技機化商長4年、SSコーチ8年、オールアルビレックスコーチ1年						

<mark>科目名</mark> 社会人常識マナー				方法	講義		
担当教	員	福山 泰子 <mark>実務</mark>		実務授業の有無		有	
対象学		スポーツビジネス学科	対象学年	2学年	開講時期	前期	
必修・:		必修	単位数	_	時間数	12時間	
授業形態 対面			面授業のみ実施				
受業概.	要、目的、 進め方	概 要 社会人としてのビジネス目 的 社会人常識マナー検定3 進め方 テキストと過去問題を値	級合格。				
学習目標 (到達目標)		社会人常識マナー検定3級取得					
	ト・教材・参・その他資料	全国経理教育協会 社会人常識	マナー検定3級	、過去問題集			
回数		授業項目、内容		学習	方法・準備学習	・備考	
1	検定対策1			テキスト、過去問	のポイント解説		
2	検定対策2			テキスト、過去問	テキスト、過去問のポイント解説		
3	検定対策3			テキスト、過去問	テキスト、過去間のポイント解説		
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
	評	価方法・成績評価基準			履修上の注意		
平常点40 ■成績評 A(秀 :	価4段階評価 1 80点以上)B(優 60点以上)D(不可	7り組み、理解度、出席率) 00点満点で評価 70点以上) 可 60点未満)		テキストの内容を把		/QVI QVI \ ;++ ++ • •	
実務紹	経験教員の経歴	18年販売促進コーディネータ ての実績あり。	一の実績、1	U牛リアールマーケ	アインク検定対策	(3級2級) 講師と	